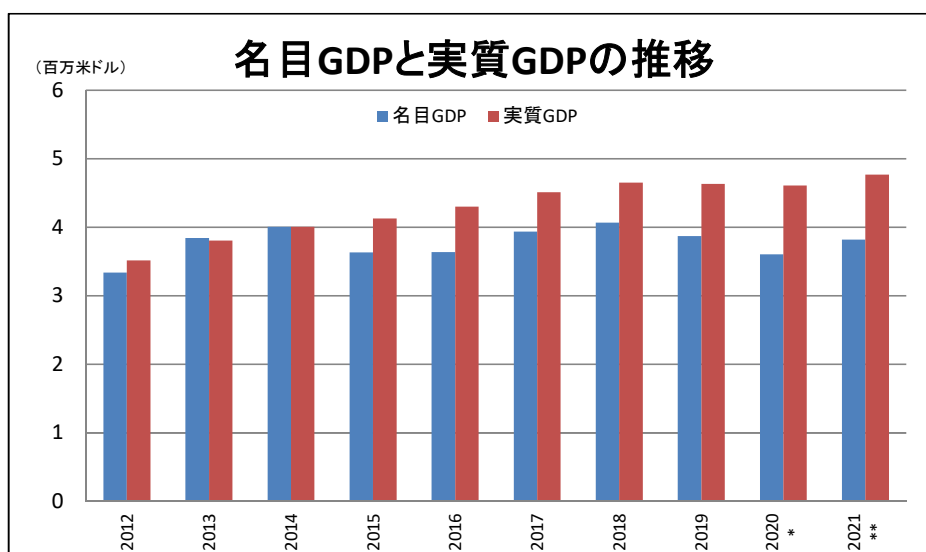


パラグアイ主要経済指標(2021年2月)

※ I ~ V および VII は全てパラグアイ中央銀行発表データ

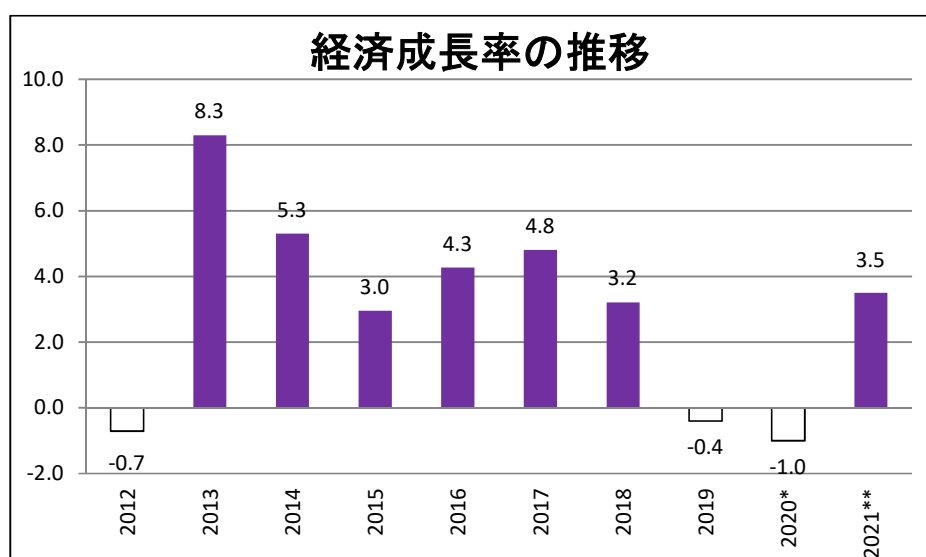
I 名目GDP・実質GDP・経済成長率 ※前月より変更なし

●2月時点で2021年度の名目GDPは38,198百万米ドル、
実質GDPは47,711百万米ドルと推定されている



※2020年は暫定値、2021年は推定値

●2月時点で2021年の経済成長率は3.5%と推定されている。



※2020年は暫定値、2021年は推定値

Ⅱ 貿易

<2021年2月貿易データ概要>

(1)輸出

2月の輸出総額は556,239千米ドルであり、1～2月の総額は1,098,126千米ドルとなった。

*** 前年度比7.8%減**

(大豆種子87.7%減、大豆油0.8%減、大豆粉81.8%増、穀物129.4%増、肉類11.5%増、電力5.4%減、自動車部品(ハーネス)2.5%減、その他15.6%増)

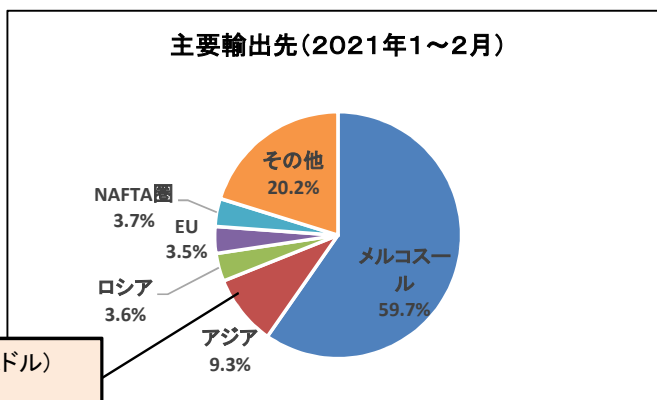
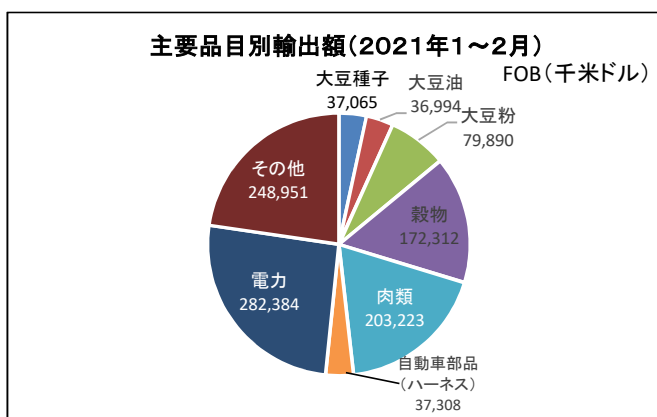
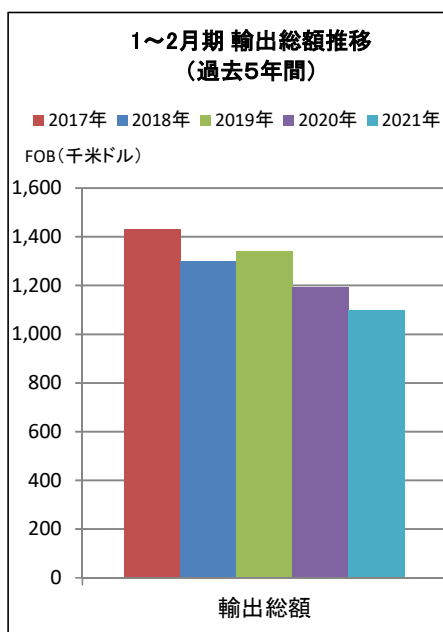
(2)輸入

2月の輸入総額は850,249千米ドルであり、1～2月の総額は1,611,858千米ドルとなった。

*** 前年度比13.3%減**

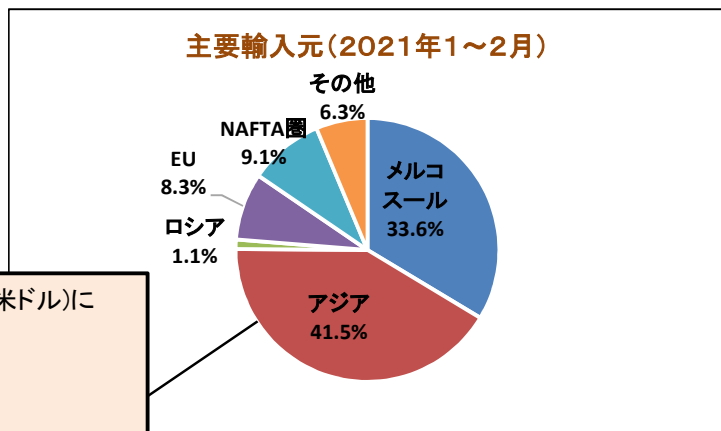
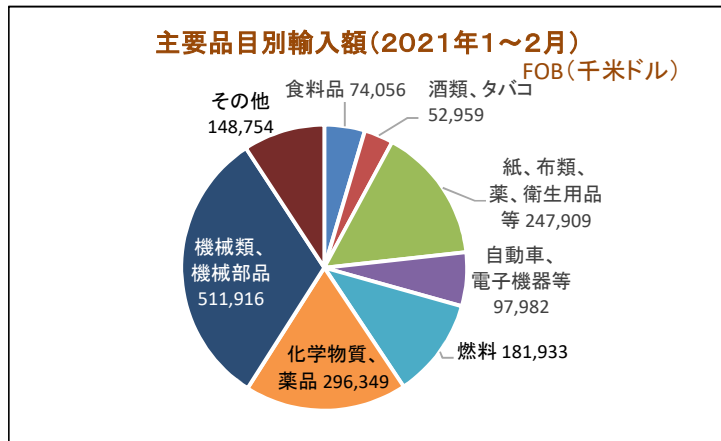
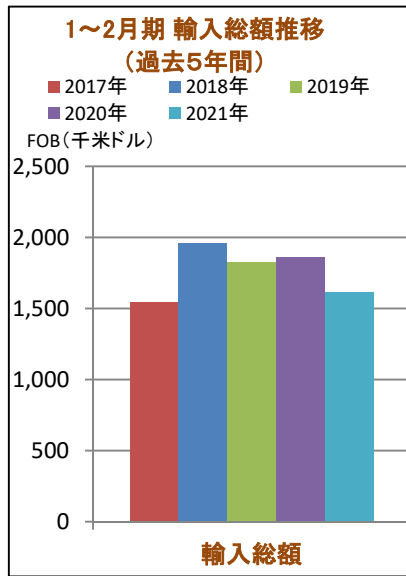
(食料品3.9%減、酒類・タバコ2.7%増、紙・布類・薬・衛生用品等18.8%減、燃料20.3%減、自動車・電子機器等27.2%減、化学物質・薬品2.2%減、機械類・部品14.2%減、その他9.3%減)

(1)輸出



【アジア向け輸出(総額101,608千米ドル)に占める割合】
 台湾: 14,169(千米ドル)【13.9%】
 日本: 1,219(千米ドル)【1.2%】
 中国: 3,089(千米ドル)【3.0%】

(2) 輸入



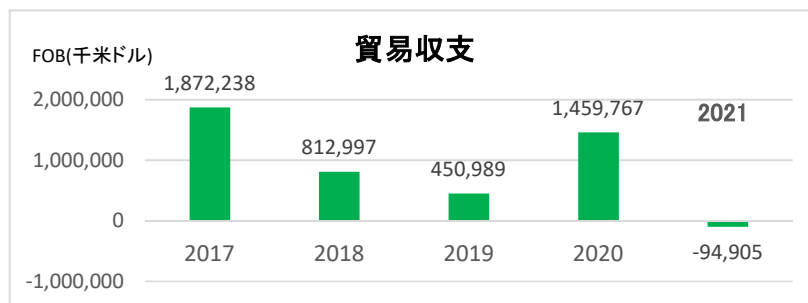
【アジアからの輸入(総額668,938千米ドル)に占める割合】

台湾: 5,616(千米ドル)【0.8%】

日本: 27,461(千米ドル)【4.1%】

中国: 495,386(千米ドル)【74.1%】

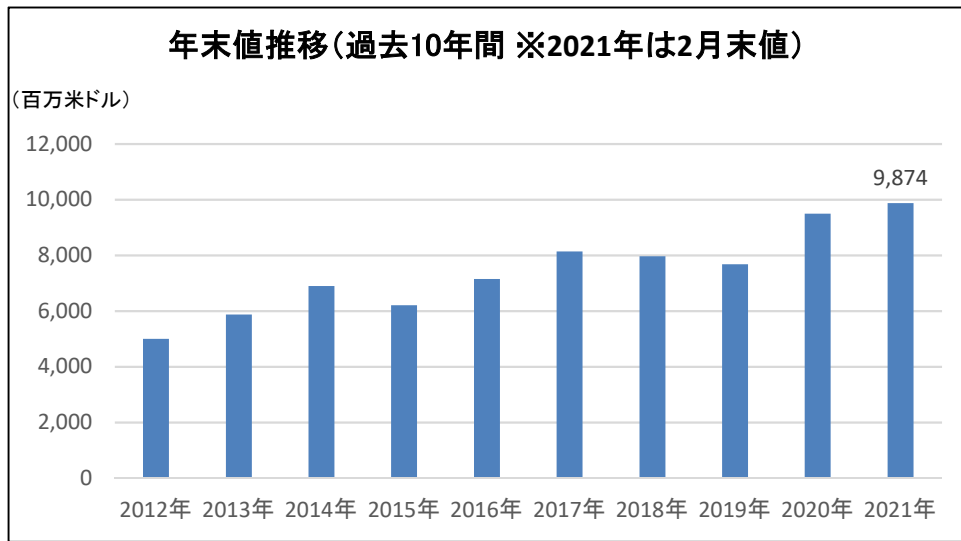
(3) 貿易収支(過去5年間、再輸出等を含めた総額ベース)



※2021年は1～2月データ

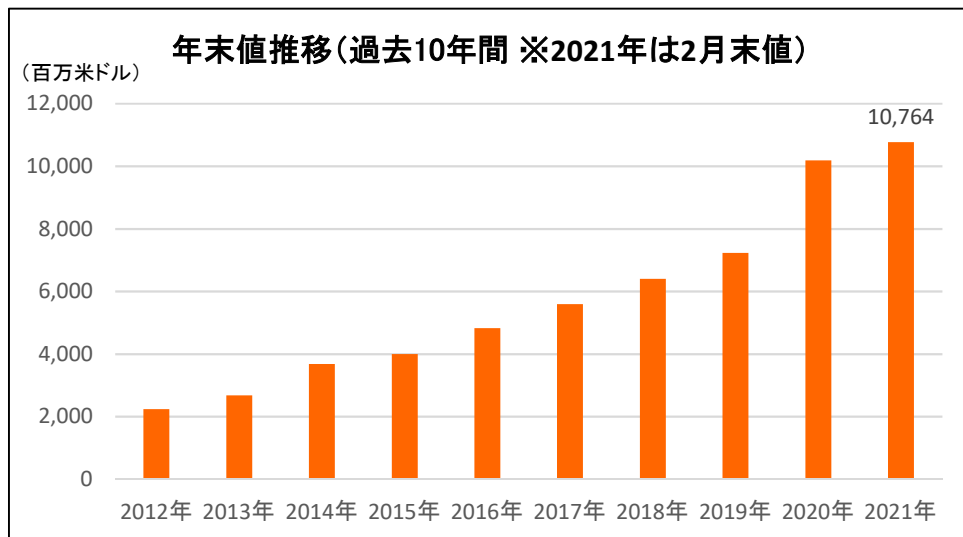
Ⅲ 外貨準備高

2021年2月末の外貨準備高は、約9,874百万米ドルであった。



Ⅳ 対外累積債務

2020年2月末の対外累積債務は、約10,764百万米ドルであった。



V 消費者物価指数

＜消費者物価指数概要＞ *小数点第二位切上げ

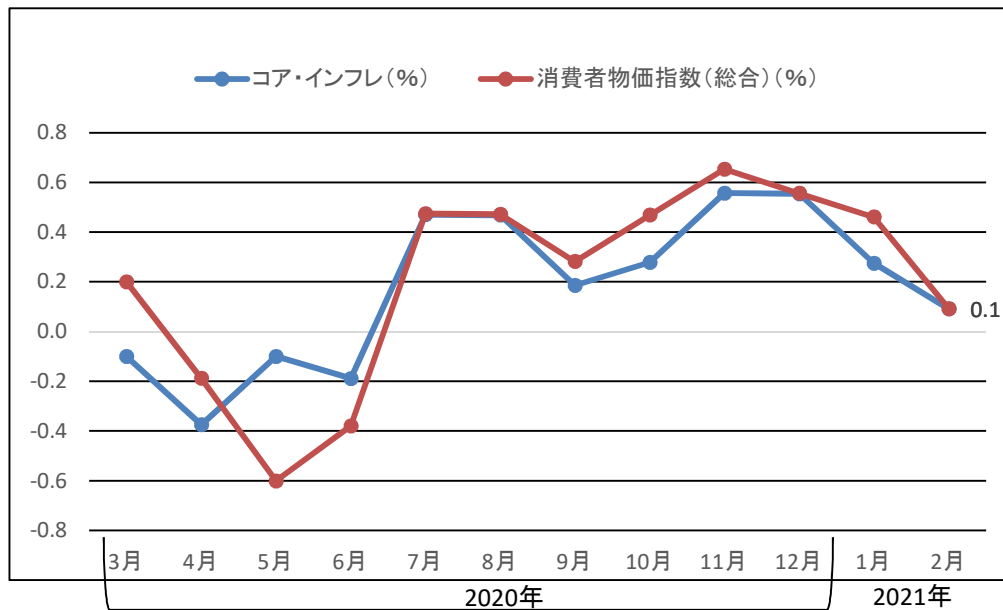
(1)コア・インフレ

2月のコア・インフレ率は0.1%であった。

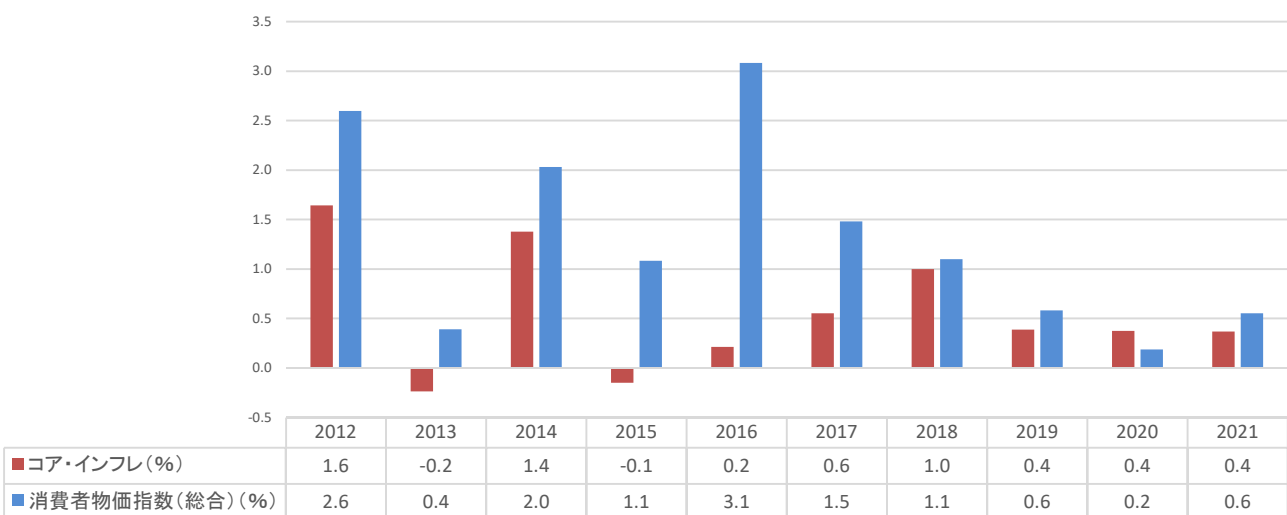
(2)消費者物価指数上昇率(総合)

2月の消費者物価指数上昇率(総合)は0.1%であった。

＜過去12か月推移＞



【参考】2012～2021年 年間累積値(2月時点)比較



VI 雇用統計(パラグアイ統計局発表) ※前月より変更なし

2020年第4四半期の失業率(全国)は7.2%(266,902人)であり、前期より1.0ポイント下落した。
男性4.9%、女性10.2%であり、依然として女性の失業率が高い。

<2020年(四半期)失業率(%)推移>

期間	全国	男/女(全国)	都市/農村
第1四半期	7.9	6.3/10.1	8.8/6.4
第2 "	7.6	6.7/8.8	9.1/4.9
第3 "	8.2	5.8/11.5	10.1/4.7
第4 "	7.2	4.9/10.2	8.8/4.1

※BoquerónとAlto Paraguay除く
*小数点第二位切り捨て

<最低賃金>

2020年1月現在:2,192,839グアラニー

参考:最低賃金の改定歴(2010年~, グアラニー)

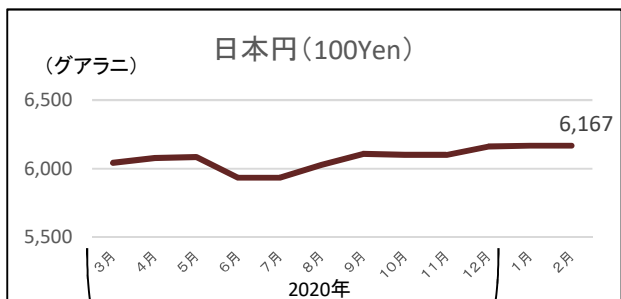
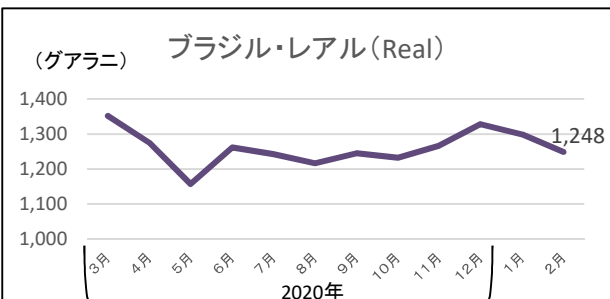
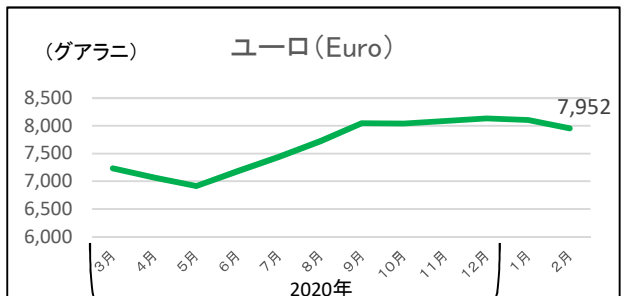
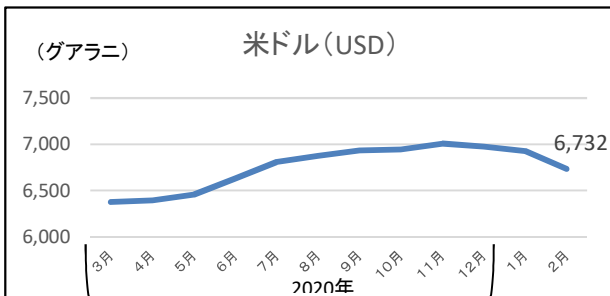
改定日	最低賃金	一日あたりの賃金	前回からの増加率
2010年7月	1,507,484	57,980	7%
2011年4月	1,658,232	63,778	10%
2014年3月	1,824,055	70,156	10%
2016年12月	1,964,507	75,558	7.7%
2017年7月	2,041,123	78,505	3.9%
2018年7月	2,112,562	81,252	3.5%
2019年7月	2,192,839	84,340	3.8%

VII 為替相場

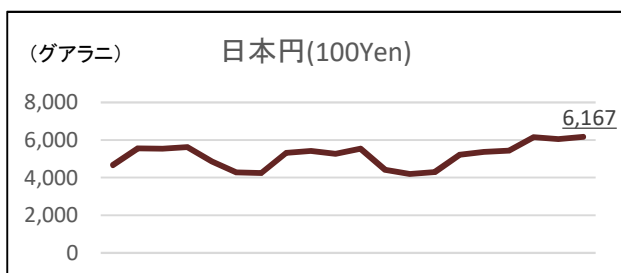
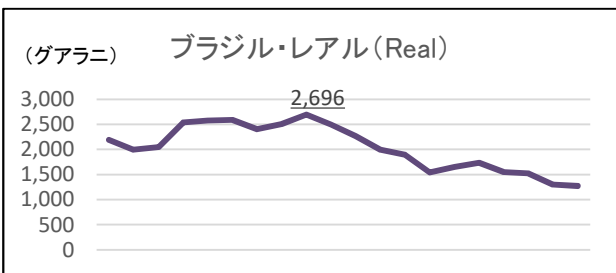
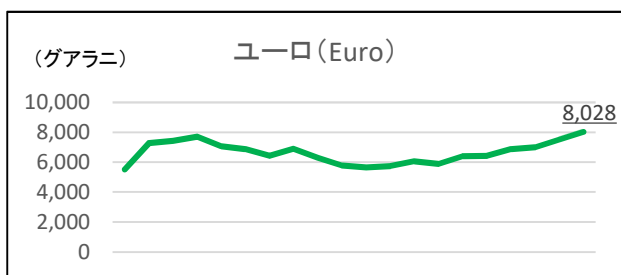
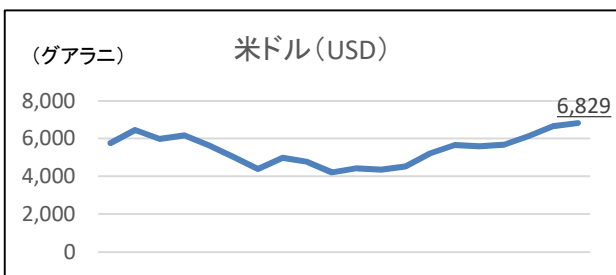
＜為替レート概要(月平均値、売値)＞

- (1) 対ドル(Gs/US\$)
2月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は6,732 Gsとなった。
- (2) 対ユーロ(Gs/EURO)
2月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は7,952 Gsとなった。
- (3) 対リアル(Gs/REAL)
2月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,248 Gsとなった。
- (4) 対日本円(Gs/円)
2月の対日本円為替レート(Gs/円)は6,167 Gsとなった。

＜過去12か月推移＞



【参考】各主要通貨対グアラニー為替相場: [年平均値推移\(2002~2021\)](#) (下線部は最安値)



VIII 2月の経済トピックス

1 経済活動が回復傾向

12日、経済閣僚会議（EEN）は、2020年末と2021年初めの国内経済に関する評価の報告書を発表した。報告を行ったジャモサス財務大臣およびカンテロ中銀総裁は、2020年12月までの月次経済活動指数（Imaep）の累計が-0.5%、また、推定売上高（ECN）が累計-0.8%を記録し、-1%とされるGDP予測値の縮小を下回ったことを強調した。また、2020年末は重要な変動と良好なマクロ経済状況が見られたことで、現在、国内の経済活動が新型コロナウイルス感染症（Covid-19）拡大以前の水準の約98.3%に達するなど、すでに経済がほぼ完全に回復していると発表した。このことから、2021年は、経済成長へ再び向かう1年となると考えられる。

ジャモサス財務大臣は、経済再生計画において実施された公共投資、融資へのアクセス、社会保障のプログラムについて触れ、Imaepだけでなく、消費の好調さの維持にも影響し、付加価値税（IVA）による収益に反映されていると述べた。また、建設および製造業が好調であると話した。しかしながら、Covid-19の拡大はいまだに不確実で、レストランやホテルなど回復が遅れている業種も存在するため、経済再生のプログラムを強く推進し続けるとした。

一方、カンテロ中銀総裁は、ImaepやECNの結果からはパラグアイが他国に比べて2020年に最も経済の落ち込みが少ないことが分かったと強調した。また、最新のGDP予測は-1%であることに言及したものの、3月に発表される新たな報告書ではこの数値が上方修正されることを否定しなかった。同様に、2021年の経済成長率について、次回の改定での更新を否定しないものの、経済関係者との会話に基づき、現時点での中銀予測は4%にとどまることを示した。

ジャモサス大臣、カンテロ総裁とともに、より強力にパラグアイが抱える課題に立ち向かい、現在の発展と繁栄があらゆる国民にいきわたるように、できる限り早期に財政法で定められた標準に戻り、国の構造改革を推進し続けると繰り返した。なお、民間セクターからは、すでに数日前に、国内経済が回復してきていることが発表された。

2 マキラ輸出の増加

商工省国家輸出マキラ産業委員会（CNIME）事務局が発表した報告書によると、2021年1月のマキラ制度を利用した輸出額は7,390万ドルに上り、昨年同士の5,540万ドルに比べ33%増加した。1月の主要輸出製品は、自動車部品で、全体の30.6%を占める。また、第2位は被服・布（輸出総量の18.8%）であり、油類および関連製品、薬品が続く。また、1月のマキラによる輸出のうち、94%の輸出先はメルコスールであり、大部分がブラジルとアルゼンチンに輸出された。残り6%の輸出先は米国、チリ、エクアドル、パナマ、ボリビア、ペルーであった。

3 パラグアイ・メキシコ商業会議所設立案

パラグアイとメキシコの商業および生産面での交流を促進かつ強化し、さらには両国の経済再活性化を促すための機会を活用することを目的として、商業会議所を設立する案が持ち上がっている。実際に、ラテルサ商工省投資・輸出局（Rediex）長がヌンガライ・メキシコ大使、フェルナンデス経済・商業担当官および専門チームと、企業家による委員会の立ち上げから始まる、今後展開される行動のアジェンダを構想するべく会合を行った。この会議所設立案では、メキシコと貿易を行うパラグアイ企業と、反対にパラグアイと貿易するメキシコ企業の両方が参加することを目指している。Rediexは、メキシコの経済がGDPの80%を占める製造業を基盤とすることに加え、食料や中間財の市場としても重要であると強調した。また、メキシコはラテンアメリカの中でも主要な輸出国であり、世界で最も大きな自由貿易協定網を持つことを考え、北米での存在感を拡大させるつもりであると続けた。同様に、パラグアイにとって、メキシコが承認プロセス中の新たな自由貿易協定は興味深いものである。